

※平成31年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

事業番号 0041

平成31年度行政事業レビューシート (警察庁)											
事業名	広報啓発等			担当部局庁	交通局			作成責任者			
事業開始年度	不明	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	交通企画課			交通企画課長 早川 智之			
会計区分	一般会計										
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	交通安全基本計画(第10次)						
主要政策・施策	交通安全対策			主要経費	その他の事項経費						
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	各種大会の開催、ポスター・リーフレットの作成等を通じた広報啓発活動により、国民の交通安全意識の向上を促し、もって、交通事故の抑止及び被害軽減を図る。										
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	効果的な広報啓発を行うための交通安全国民運動中央大会等の開催、高齢者講習等で用いる手話及び字幕入り映画の作成、子供と高齢者の交通事故防止に係る広報啓発リーフレット作成等を実施										
実施方法	直接実施、委託・請負										
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			28年度	29年度	30年度	31年度	32年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	71	67	65	83	91				
		補正予算	-	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-				
		予備費等	-	13	-	-	-				
	計		71	80	65	83	91				
	執行額		71	80	65	-	-				
	執行率 (%)		100%	100%	100%	-	-				
	当初予算+補正予算に対す る執行額の割合 (%)		100%	119%	100%	-	-				
平成31・32年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		31年度当初予算	32年度要求	主な増減理由						
	警察装備費		81	89	各種事業における実績額反映及び一部実施事業の拡大に伴う増額要求によるもの。						
	諸謝金		2	2							
	計		83	91							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標			単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 1 年度
	令和元年(第10次交通安全基本計画4力年目)中の歩行者横断中の死傷者数を26,140人(平成25年の79.6%)以下に引き下げる。また、最終年度である第10次最終年度の令和2年には、24,300人とする。		交通事故統計(警察庁)		成果実績	人	30,430	29,765	27,944	-	-
					目標値	人	-	-	-	-	26,122
					達成度	%	91.9	93.9	100	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)											
交通事故統計(警察庁)											
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標			単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 1 年度
	令和元年(第10次交通安全基本計画4力年目)中の自転車乗車中の死傷者数を75,988人(平成25年の70.0%)以下に引き下げる。また、最終年度である第10次最終年度の令和2年には、67,593人とする。		交通事故統計(警察庁)		成果実績	人	90,055	89,368	84,383	-	-
					目標値	人	-	-	-	-	75,988
					達成度	%	90.8	91.5	96.9	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)											
交通事故統計(警察庁)											

定量的な成果目標の設定が困難	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標	実績	単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 1 年度	
		【参考】令和元年(第10次交通安全基本計画4力年目)中の交通事故死傷者数を514,689人以下とする。	交通事故統計(警察庁)		人	622,757	584,544	529,378	-	-	
		目標値	人	-	-	-	-	514,689			
		達成度	%	89.3	95.2	100	-	-			
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			実績	単位	28年度	29年度	30年度	31年度 活動見込	32年度 活動見込	
	ポスター・リーフレットの作成枚数			活動実績	部	1,038,000	1,076,000	1,076,000	-	-	
				当初見込み	部	1,038,000	1,200,000	1,076,000	1,076,000	-	
単位当たりコスト	算出根拠			実績	単位	28年度	29年度	30年度	31年度活動見込		
	ポスター等の作成に係る執行額/ポスター等の作成部数			単位当たりコスト	円	3.6	3.1	3.7	3.7		
				計算式	執行額/部数	3,776,760円/738千部	3,296,764円/1,076千部	3,943,080円/1,076千部	4,020,000/1,076千部		
政策評価	政策	4 安全かつ快適な交通の確保									
	施策	1 歩行者・自転車利用者の安全確保									
	測定指標	定量的指標			実績	単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標年度 2 年度
		歩行者中・自転車乗用中の交通事故死者数 ※実績値、目標値については、暦年による数値			実績値	人	1,870	1,827	1,711	-	-
					目標値	人	2,106	2,106	2,106	-	2,106
		定量的指標			実績	単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標年度 2 年度
		歩行者中の高齢者(注1)の交通事故死者数 (注1)65歳以上の者を指す。 ※実績値、目標値については、暦年による数値			実績値	人	1,003	972	899	-	-
					目標値	人	1,070	1,070	1,070	-	1,070
		定量的指標			実績	単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標年度 2 年度
		自転車関連事故(注2)件数 (注2)自転車が第1当事者又は第2当事者となった交通事故件数 ※実績値、目標値については、暦年による数値			実績値	件	90,836	90,407	85,641	-	-
目標値	件				98,700	98,700	98,700	-	98,700		
定量的指標			実績	単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標年度 2 年度		
歩行者と自転車との交通事故件数 ※実績値、目標値については、暦年による数値			実績値	件	2,281	2,550	2,756	-	-		
			目標値	件	2,506	2,506	2,506	-	2,506		
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
速度違反自動取締装置を整備する本事業により、悪質・危険性の高い違反である速度超過の取締り及び速度抑止を効果的。効率的に図ることで、上記定量的指標に掲げられている各種交通事故の発生が未然に防止され、もって安全かつ快適な交通の確保に資すると認められる。											

政策	4 安全かつ快適な交通の確保										
	施策	2 運転者対策の推進									
		測定指標	定量的指標			単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標年度 2 年度
	悪質性・危険性の高い違反に起因する交通死亡事故件数 ※実績値、目標値については、暦年による数値		実績値	件	949	884	814	-	-		
			目標値	件	1,010	1,010	1,010	-	1,010		
	定量的指標			単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標年度 2 年度		
	70歳以上の高齢運転者による交通死亡事故件数 ※実績値、目標値については、暦年による数値		実績値	件	667	629	709	-	-		
			目標値	件	686	686	686	-	686		
	定量的指標			単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標年度 2 年度		
	70歳以上の免許保有者10万人当たりの死亡事故件数 ※実績値、目標値については、暦年による数値		実績値	件	6.8	6	6.3	-	-		
目標値		件	7.2	7.2	7.2	-	7.2				
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
<p>速度違反自動取締装置を整備する本事業により、悪質・危険性の高い違反である速度超過の取締り及び速度抑止を効果的。効率的に図ることで、上記定量的指標に掲げられている各種交通事故の発生が未然に防止され、もって安全かつ快適な交通の確保に資すると認められる。</p>											
取組事項	分野:	-									
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 - 年度	30年度	31年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
-		成果実績	-	-	-	-	-				
		目標値	-	-	-	-	-				
達成度	%	-	-	-	-	-					
(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 - 年度	30年度	31年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
	-	成果実績	-	-	-	-	-				
		目標値	-	-	-	-	-				
達成度	%	-	-	-	-	-					
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係											
-											

事業所管部局による点検・改善

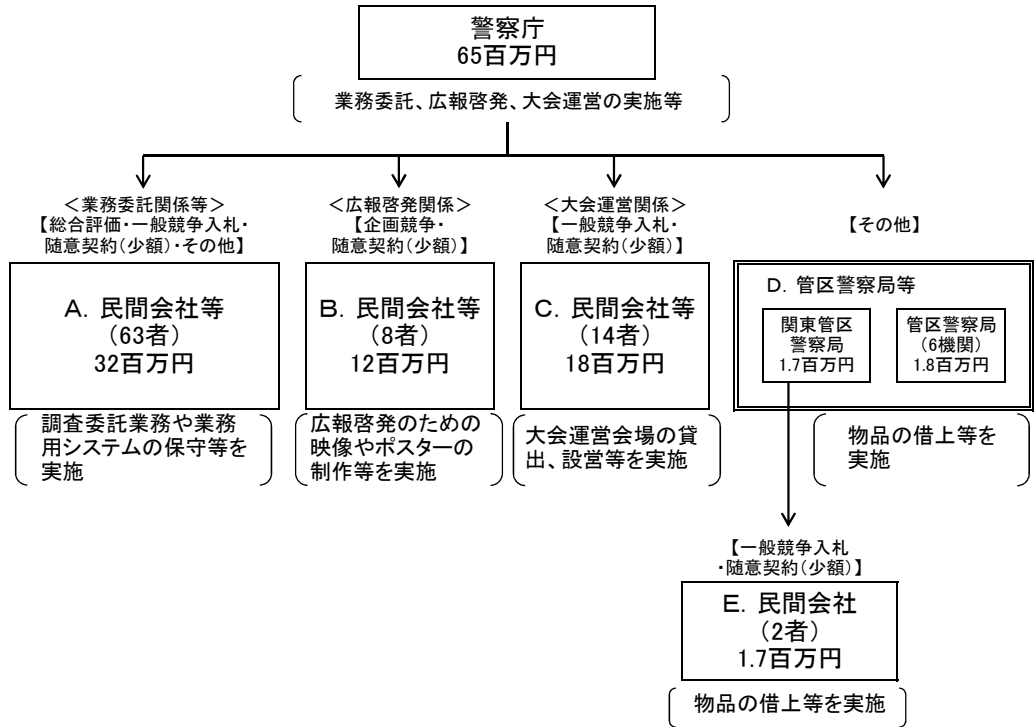
項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	交通事故死者数等は減少しているが、政府目標の達成に向け、引き続き効果的な交通事故防止策を推進していく必要がある。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	全国的な交通事故実態の分析や法令改正等を国民全体に周知するため、国が実施すべきものである。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	-	-
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	一般競争入札の実施のほか複数の者から見積もりを徴取するなど競争性の確保に努めているが、見積もりを徴取した業者の繁忙期に重なったり、請負可能な者の人手不足等で一者応札になっている事業もある。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	契約実績単価を翌年度の予算要求に反映させることで、コストの削減に努めている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業内容を十分に精査し、真に必要なものに限定している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	本事業の広報啓発活動等により、国民の交通安全意識の向上が図られたことが交通事故抑止の効果につながっていると認められる。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	専門的知識・技能を有する者に委託することにより、効率的に事業が遂行できている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	当初計画した活動実績について、実行している。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	成果物等を配布するなど、国民の交通安全意識の向上に活用している。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-
	所管府省名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	<p>1 支出先及び使途の把握 本事業は、珪砂薬つ庁が直接契約していることから、支出先・使途を把握するほか、各管区警察局への予算配分についても執行調査を行うことにより、執行額及び支出先・使途を把握している。</p> <p>2 見直しの余地 本事業は、広報啓発活動による国民の交通安全意識の向上など、交通安全行政の一環として必要性が高いため、継続して実施する必要がある。契約方法についても、一般競争入札の実施により競争性を確保するほか、随意契約案件については、オープンカウンター方式を実施することで他者の参入の機会を設けている。</p>	
	改善の方向性	<p>1 適正な予算の確保 契約における一般競争入札の実施による競争性を確保するとともに、実績単価の反映及び複数業者から見積書を徴取するなどして、コスト削減を図り、適正な予算の確保に努める。</p>	
外部有識者の所見			
点検対象外			
行政事業レビュー推進チームの所見			
現状通り	引き続き、適切かつ効率的な事業実施に努めること。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
現状通り	執行にあたっては、一般競争入札を行うなど、競争性・透明性を十分に確保している。また、令和2年度概算要求については、事業内容を精査した上で要求している。		
備考			

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	当初5-12	平成23年度	32	平成24年度	19	平成25年度	48
平成26年度	43	平成27年度	35	平成28年度	37	平成29年度	36
平成30年度	警察庁 (0035)						

※平成30年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何をやっているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(株)アステム			B.(株)毎日映画社		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外部委託	平成30年度交通事故被害者サポート事業	7	外部委託	更新時講習用映画制作	4
計		7	計		4
C.自動車安全運転センター			D.関東管区警察局		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	第49回全国白バイ安全運転競技大会の会場借上げ等	7	予算配分	物品の借上等	1.7
計		7	計		1.7
E.松本寝具(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	寝具の賃貸借	1.6			
計		1.6	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)アステム	7120001060149	平成30年度交通事故被害者サポート事業	7.1	随意契約 (その他)	4	-	-
2	(株)海風社	9120001076787	平成30年度交通安全ファミリー作文コンクール事業支援業務	6.5	随意契約 (その他)	2	-	-
3	エム・アール・アイリサーチアソシエイツ(株)	7010001012532	諸外国における運転中の携帯電話使用等に係る法制度等に関する調査研究	5.3	一般競争契約 (総合評価)	3	-	-
4	社会システム(株)	1013201015327	一定のワゴン型乗用車を運転するための免許制度の在り方に関する走行実験	2.4	一般競争契約 (最低価格)	3	-	-
5	アクシスインターナショナル(株)	6013301025337	CD-ROMの複製及び配送業務	2.2	一般競争契約 (最低価格)	1	-	-
6	(株)オリジナル・テクノロジー・カンパニー	3020001011132	交通事故統計データ集計システム保守	1.9	一般競争契約 (最低価格)	1	-	-
7	(株)都市交流プランニング	7011101045942	AT限定大型二輪免許の在り方に関する走行実験	1	一般競争契約 (最低価格)	2	-	-
8	(財団)交通事故総合分析センター	2010005018547	携帯電話使用等違反に占める再犯状況に関するデータ抽出業務	0.7	随意契約 (少額)	-	-	-
9	OECD	-	IRTAD(国際道路交通事故データベース)年間分担金	0.5	その他	-	-	-
10	(株)さくらプランニング	6030001048831	自動運転の実用化に向けた制度整備のためのドイツ道路交通法令の翻訳	0.4	一般競争契約 (最低価格)	7	-	-

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)毎日映画社	9010001029962	講習用映像制作	3.7	随意契約 (企画競争)	7	-	-
2	(株)ジャパックス	3011001032986	交通事故被害者遺族の声と交通法令遵守の重要性を伝えるための映像教材の制作	2.8	随意契約 (企画競争)	6	-	-
3	(株)アド・エイム	7011101000889	自転車乗車中における交通事故防止に係る広報啓発ポスター及びリーフレット制作	2	随意契約 (企画競争)	6	-	-
4	(株)エイチナイン	3013101005376	薄暮時間帯及び夜間における交通事故防止に係る広報啓発ポスター及びリーフレット制作	2	随意契約 (企画競争)	8	-	-
5	(福)東京コロニー	6011205000217	交通統計(平成29年版)	0.6	随意契約 (少額)	-	-	-
6	(株)丸井工文社	6010901011444	交通事故統計年報(平成29年版)	0.3	随意契約 (少額)	-	-	-
7	中和印刷(株)	6010001050335	速度違反取締装置による取締り(印刷製本)	0.2	随意契約 (少額)	-	-	-
8	社会福祉法人復生あせび会 abeam(アビーム)	4080105001163	交通規制・交通安全施設関係統計(平成30年版)	0.1	随意契約 (少額)	-	-	-

